



第67期 中間報告書

2015年1月1日 ▶ 2015年6月30日

日本で一番質の高い
“食” & “ホスピタリティ”グループへ

ROYAL

ロイヤルホールディングス株式会社

証券コード ● 8179

ロイヤル経営基本理念

ロイヤルは食品企業である。
 お客様から代金を頂くからには、
 一、食品は美味しくなければならない。
 一、調理・製造も取扱いも衛生的でなければならない。
 一、サービス販売は、お客様の心を楽しませ、
 社会を明るくするものでなければならない。
 以上のつとめを果たす報酬として、正当な利潤を得られ、
 ロイヤルも私共も永遠に繁栄する。

1956年(昭和31年)6月制定

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

「第67期 中間報告書」をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社グループが主力とする外食事業を取り巻く環境は、同業態のみならず他業種他業態との顧客獲得競争が激しさを増すなか、原材料価格やエネルギーコストの上昇、景気回復傾向にともなう人材不足と人件費関連コスト等の主要コスト上昇もあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境の下、当社グループでは、日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ”グループを目指し、平成29年度を最終年度とする中期経営計画「Fly To 2017」を策定

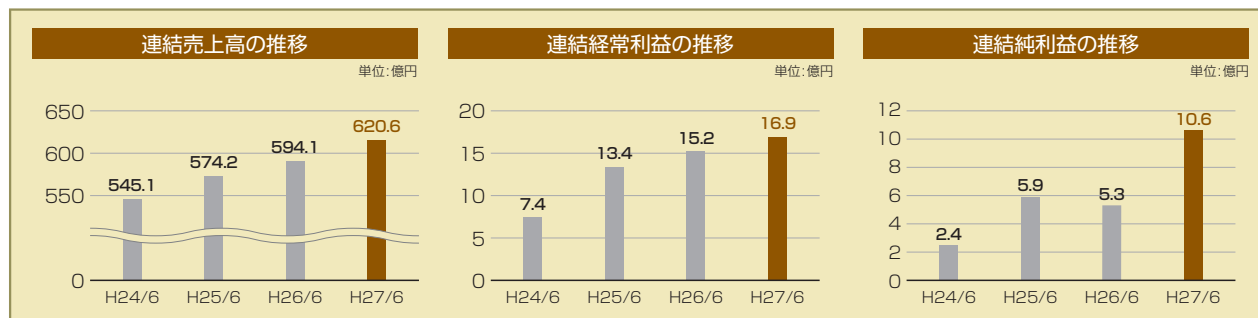
いたしました。この中期経営計画は当社グループを取り巻く経営環境が大きく変化するなか、持続的成長に向けて対応するものであり、「ホスピタリティビジネスの産業化モデル」を構築することを目標としております。この目標を達成するとともに、増収増益を今後も安定的に継続できるよう、引き続き経営基本理念の実践に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成27年9月
 代表取締役社長 菊地 唯夫

連結決算ハイライト(中間)



当社グループでは、今後見込まれる経営環境の変化と外食産業の構造的課題を踏まえ、平成26年11月に持続的な成長を基本方針とした中期経営計画「Fly to 2017」を策定いたしました。

その初年度にあたる平成27年度におきましては、当社グループが有する多様な事業においてそれぞれの強みと事業環境を踏まえ、「付加価値向上」「新規市場創出」「効率性向上」という三つの視点から生産性の向上を図ると同時に顧客満足度の向上を図るべく、各種経営施策を着実に進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は62,062百万円（前年同期比+4.5%）、営業利益は1,609百万円（前年同期比+13.5%）、経常利益は1,693百万円（前年同期比+10.9%）と増収増益となりました。なお、特別損益として投資有価証券売却益195百万円および受取補償金192百万円を特別利益に、固定資産除売却損158百万円など総額232百万円を特別損失に計上したほか、法人税等742百万円を計上し、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は1,068百万円（前年同期比+100.1%）となりました。

● 事業別の概況

外食事業

売上高 30,564百万円

- 25店舗(国内外のフランチャイズと専門店を含む)を出店
- 4月に沖縄県初出店となる「ロイヤルホスト沖縄ライカム店」と「カウボーイ家族（ファミリー）沖縄ライカム店」を開業
- 「天丼てんや」は、首都圏に直営店舗9店舗を出店したほか、国内フランチャイズ店舗を大阪府、愛媛県他に4店舗、海外フランチャイズ店舗をフィリピンに初出店するなど着実に店舗網を拡大

コントラクト事業

売上高 15,805百万円

- 法人、医療介護施設等からの営業受託により7店舗を出店
- 空港内ラウンジ等、前期より営業受託した店舗による売上が増加
- 訪日外国人増加の影響を受けた空港ターミナル店舗のほか、コンベンション施設内、事業所内等の既存店が堅調な売上推移

機内食事業

売上高 3,873百万円

- 訪日外国人増加による搭乗客数が増加
- 本年7月沖縄新工場が開業
- 一部受託路線の運休や契約内容の変更により減収

ホテル事業

売上高 10,178百万円

- 一部の経年したホテルにおいて一時休業を伴う改装を実施
- 既存ホテル全体が堅調に推移したことや前期開業のホテルが売上増加に寄与

食品事業

売上高 4,673百万円

- 外食インフラ機能として主に外食事業とコントラクト事業に対する食品製造、購買、物流事業のほか、一部グループ外向け製品を製造
- 主にグループ外企業向けの食品製造が増加

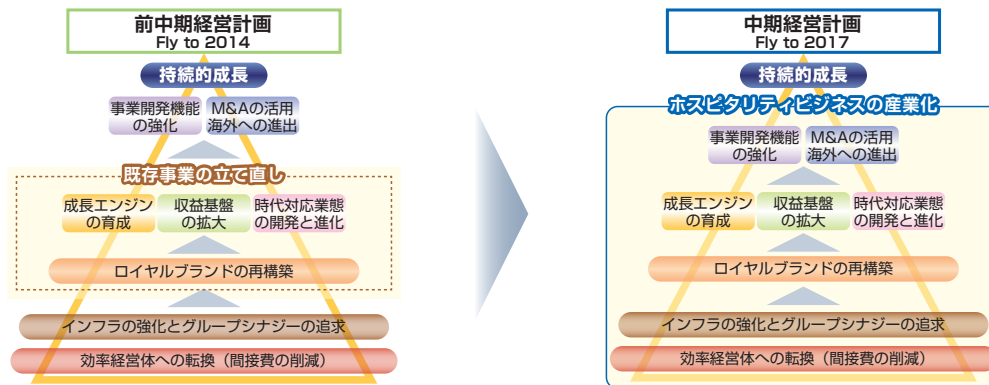
(注) ここまでに記載の売上高には、その他の営業収入を含めております。

中期経営計画「Fly to 2017」

当社グループでは「ロイヤルグループ経営ビジョン2020」において『「お客様の満足」を最大の目標とし、時代の変化にしっかりと対応する日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ” グループを目指す』というグループビジョンを掲げております。

中期経営計画「Fly to 2017」は、「経営ビジョン」の実現に向けた三段階の中期経営計画の第二段階と位置付け、「ホスピタリティビジネスの産業化」を柱とした各種施策を展開しております。中期経営計画の初年度となる本年度におきましては、「付加価値向上」「新規市場創出」「効率性向上」という三つの視点から生産性の向上を図るとともに顧客満足度の向上を図るべく、各種経営施策を着実に進めております。景気が緩やかに回復していくことが期待されている中、今後もロイヤルグループは持続性のある成長路線を目指してまいります。

ホスピタリティビジネスの産業化



ロイヤルブランドの再構築

ロイヤルホストは地域に愛されるNo.1ホスピタリティレストランとして進化します

ロイヤルホストは、昨年3年連続で既存店売上高前年比100%超えを達成いたしました。昨年の消費税増税後の大変厳しい経営環境の中、ロイヤルホストの取組みがお客様にご支持いただいた結果と考えております。

本年は、沖縄県に「ロイヤルホスト」と「カウボーイ家族(ファミリー)」を初出店いたしました。また、「カウボーイ家族(ファミリー)」は沖縄初出店の他、2月に大阪ドームシティ店、3月に甲子園店、6月には相模大野駅前店、町田小山店と5店舗をオープンいたしました。今後もロイヤルホストとカウボーイ家族(ファミリー)は、お客様のさまざまな利用動機に応える、地域に根ざしたレストランとして新しい価値の創造に向けて進化していきます。



ロイヤルホスト沖縄ライカム



カウボーイファミリー沖縄ライカム

広がるロイヤルグループ

ロイヤルグループ沖縄への展開を拡大

本年7月、沖縄県で初となる機内食専用工場として福岡インフライトケイタリング株式会社沖縄事業所が那覇空港至近の国際物流拠点産業集積地域那覇地区内に開業いたしました。

最大で1日2,500食の機内食調製を想定して作られた工場は、約625㎡のスペースに調製に必要な機能を備えています。工場内には認証を受けたハラル専用キッチンも設置し、通常の機内食以外にハラルミールの調製も可能な設備となっています。

沖縄では、4月にイオンモール沖縄ライカムにロイヤルホストとカウボーイ家族(ファミリー)をオープンし、ロイヤルグループの沖縄の拠点は、既存の那覇空港旅客ターミナル内店舗6店舗とリッチモンドホテル那覇久茂地、フランチヤイズ展開しているシェーキーズ4店舗と合わせ14拠点となり、沖縄での展開を拡大しています。



機内食工場(沖縄事業所)



ハラル専用キッチン



ハラルミール

天井てんや 2015年も続々と出店

天井・天ぶらチェーン「てんや」では、国内においては、直営店を1月の八王子北口店をかわきりに、3月に3店舗、4月に3店舗、5月には2店舗と上期に9店舗をオープンしました。また、国内フランチャイズとして4月に御徒町店、5月に東松山店、6月には大阪のクリスタ長堀店、愛媛県に松江店、愛知県の2号店となる豊田浄水店と相次いでオープンしました。

海外においては、3月にフィリピン1号店となる、TENYA SM MegaMall店を開業しています。今後も天井てんやは、「あなたの街のてんやです。」をモットーに、地域のお客様に喜んでいただけるよう感謝の気持ちを忘れず、お客様の感動づくりに挑戦し続ける店舗運営を目指してまいります。



天井てんや 溝の口



天井てんや フィリピン1号店

■ 四半期連結財務諸表 (要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	科 目	前期末	当第2四半期
		H26.12.31 現在	連結会計期間末 H27.6.30 現在
資産の部	流動資産	16,755	15,134
	固定資産	65,160	67,582
	有形固定資産	38,303	39,809
	無形固定資産	697	662
	投資その他の資産	26,159	27,111
	資産合計	81,916	82,717
負債の部	流動負債	16,531	17,023
	固定負債	20,796	19,986
	負債合計	37,327	37,010
純資産の部	株主資本	42,497	42,738
	資本金	13,676	13,676
	資本剰余金	23,918	23,918
	利益剰余金	7,839	8,080
	自己株式	△ 2,936	△ 2,937
	その他の包括利益累計額	1,407	2,307
	少数株主持分	684	660
	純資産合計	44,588	45,707
	負債・純資産合計	81,916	82,717

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計期間 H26.1.1 ▶ H26.6.30	連結累計期間 H27.1.1 ▶ H27.6.30
売上高	58,251	60,526
売上原価	18,823	19,738
売上総利益	39,428	40,788
その他の営業収入	1,165	1,536
営業総利益	40,593	42,324
販売費及び一般管理費	39,176	40,715
営業利益	1,417	1,609
営業外収益	368	375
営業外費用	258	291
経常利益	1,526	1,693
特別利益	—	387
特別損失	245	232
税金等調整前四半期純利益	1,280	1,848
法人税等	727	742
少数株主損益調整前四半期純利益	553	1,106
少数株主利益	19	37
四半期純利益	533	1,068

アールエヌティーホテルズ株式会社

楽天トラベルアワード2014、オリコン日本顧客満足度ランキング2015で各賞を受賞

1月に発表された「楽天トラベルアワード2014」において、7地域のホテルで各賞を受賞しました。中でもリッチモンドホテル那覇久茂地では、シティビジネス部門において4年連続でダイヤモンド賞を受賞しました。これは最も顕著な実績を収めた宿泊施設が受賞するもので、ベストパートナー賞とのダブル受賞を果たしています。また、3月には「オリコン日本顧客満足度ランキング2015」の生活関連部門「ビジネスホテル」カテゴリにおいて総合1位、観光利用でも1位のダブル受賞をいたしました。



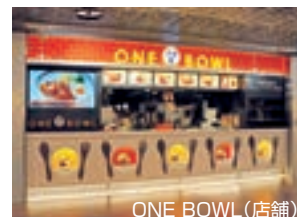
リッチモンドホテル水道橋

このランキングは、実際にサービスを受けたお客様による評価から決定されるもので、リッチモンドホテルの取組みがお客様から高い評価を受けての受賞となりました。

ロイヤル空港高速フードサービス株式会社

成田国際空港 新LCCターミナルに出店

4月、成田国際空港に開業した第3旅客ターミナル(LCC専用ターミナル)2階フードコート内に、「洋丼屋ONE BOWL」をオープンしました。約400席のフードコート内で、ステーキ丼、ロコモコ丼、ハッシュドビーフ丼など、洋風にアレンジした丼メニューを提供



ONE BOWL(店舗)

しています。お客様が集中するピーク時にも、料理の品質を下げることなくスムーズな対応ができるよう、調理器具や調理手順を工夫し作業の効率化を図っております。



ロコモコ丼

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	H26.1.1 ▶ H26.6.30	H27.1.1 ▶ H27.6.30
営業活動による キャッシュ・フロー	2,581	3,212
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,630	△ 3,954
財務活動による キャッシュ・フロー	119	772
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	70	30
現金及び現金同等物の 期首残高	4,857	4,736
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,927	4,767

株式会社関西インフライトケイタリング 福岡インフライトケイタリング株式会社

品質・管理・オペレーションを評価され各賞を受賞

関西インフライトケイタリング

- ・ QSAI「アジア太平洋地域・金賞」3年連続受賞
- ・ アシアナ航空「2014 Best improvement of 'OZ Fresh」受賞
- ・ カタール航空「Best Network Caterer」「Best Asia / Pacific Caterer」ダブル受賞

福岡インフライトケイタリング

- ・ KLMオランダ航空「KLMケイタリングパフォーマンスアワード」アジア地区1位受賞
- ・ 大韓航空「ベストケイタラーアワード」短中距離部門1位受賞



QSAIゴールドアワード

会社の概況

● 会社概要 (平成27年6月30日現在)

会 社 名	ロイヤルホールディングス株式会社 (英文名 ROYAL HOLDINGS Co., Ltd.)
設 立	昭和25年4月
資 本 金	13,676,179,700円
従 業 員 数	連結 2,526名
東 京 本 部	東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
本 社	福岡県福岡市博多区那珂三丁目28番5号
事 業 内 容	グループの経営を統括・管理する 純粋持株会社

● 役 員 (平成27年6月30日現在)

取締役

代表取締役社長	菊 地 唯 夫
専務取締役	矢 崎 精 二
取 締 役	野々村 彰 人
取 締 役	黒 須 康 宏
取 締 役	木 村 公 篤
取 締 役	貴 堂 聡
取締役相談役	富 永 真 理
社外取締役	末 吉 紀 雄

監査役

常 勤 監 査 役	浦 一 馬
常 勤 監 査 役	小 村 吾 郎
社 外 監 査 役	久保田 康 史
社 外 監 査 役	渡 辺 佳 夫

株主優待制度 詳細は <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/stockholder/>

対 象	毎年6月末および12月末現在の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主の皆様。
内 容	6月末の株主様には9月中旬に、12月末の株主様には3月下旬にそれぞれ、株式数に応じて「株主ご優待券」をご送付申し上げます。

ご所有株式数	株主ご優待券
100株以上500株未満	年間 1,000円分 (500円×1枚×2回)
500株以上1,000株未満	年間 10,000円分 (500円×10枚×2回)
1,000株以上 (一律)	年間 24,000円分 (500円×24枚×2回)

株式の情報

平成27年6月30日現在

Shareholders Information

株式の状況

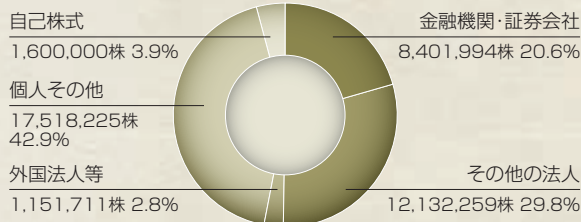
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	40,804,189株
単元株式数	100株
株主数	21,524名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キルロイ興産株式会社	3,174	8.10
公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団	2,452	6.25
株式会社ダスキン	1,400	3.57
コカ・コーラウエスト株式会社	962	2.45
株式会社西日本シティ銀行	955	2.44
株式会社福岡銀行	833	2.13
日本生命保険相互会社	803	2.05
ハンナン株式会社	692	1.77
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	685	1.75
株式会社三越伊勢丹	681	1.74

(注) 当社は、自己株式1,600千株を所有しております。上記の持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 (http://www.royal-holdings.co.jp/)
上場取引所	東京証券取引所第一部 福岡証券取引所

株式に関する各種手続き

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求・買増請求等の各種お手続きは、口座を開設されている証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

※平成22年5月1日に株式会社テン コーポレーションとの株式交換に伴う株式の割当により当社株主となられた株主様のうち、証券会社に口座を開設されていない株主様のご連絡先は、以下のとおりです。

特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-288-324

IRサイトのご案内

アドレス <http://www.royal-holdings.co.jp/ir/>

ロイヤルホールディングス株式会社

〒154-8584 東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号
電話：(03) 5707-8830



この冊子は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています